

公表

事業所における自己評価総括表

| | | | |
|----------------|------------------------|----|-------------|
| ○事業所名 | COCOサポートセンターゆず（児童発達支援） | | |
| ○保護者評価実施期間 | 令和7年2月3日 | | ～ 令和7年3月14日 |
| ○保護者評価有効回答数 | (対象者数) | 12 | (回答者数) 10 |
| ○従業者評価実施期間 | 令和7年2月3日 | | ～ 令和7年3月14日 |
| ○従業者評価有効回答数 | (対象者数) | 8 | (回答者数) 8 |
| ○事業者向け自己評価表作成日 | 令和7年3月31日 | | |

○分析結果

| | 事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること | 工夫していることや意識的に行っている取組等 | さらに充実を図るための取組等 |
|---|--|--|--|
| 1 | 活動プログラムの立案をチームで実施している。 活動後の評価（外部評価も含む）も行っている。 | 季節ごとに机上・運動・音楽・共同制作等様々な活動プログラムを考案して実施している。実施後には毎月1回活動振り返り研修を全職員で行い、良かった点や改善点等を話し合い5段階評価を最終的に行っている。評価の低いものは継続せず、評価の高かったものは更に内容を良いものにして実施している。また専門指導の講師（主にOT）に毎月1回活動を見てもらい、良い点・改善点（活動中の職員の動きや声掛け、活動の内容等）を職員に対し具体的な指導やアドバイスをいただき、それを全職員にフィードバックしている。 | 療育参観や療育体験は行っているが、もっと気軽に利用児や保護者からの意見や評価を取り入れられるような仕組み作りも考えていきたい。 |
| 2 | 職員の離職率が低く学齢前期の期間を同じ職員が手厚く支援することができる。 | 職員に対する勉強会や研修を充実させており、意欲や自身を持って仕事ができるようにしている。 会議やミーティングを多く行い、その運営や進捗を管理者が行うのではなくリーダーに任せて自主性を高められるようにしている。 | 外部研修参加の機会を更に充実させて知識を深めていきたい。 交流のある他事業所での支援や療育体験をする機会等を設け、経験値を高めていきたい。 |
| 3 | 地域交流を含む行事の開催と実施。 | 行事は毎月行い、保護者・家族が参加できる行事が多くある。 地域交流行事も毎年実施しており、年々地域の方々の参加も増えている。 最近では事業所への理解も深まり、贈り物をいただいたり場所の提供をしていただくなど協力していただくことも増えてきている。 | 行事だけでなく保護者や地域の方々にも参加や協力していただき避難訓練を実施したいと考えている。 |

| | 事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること | 事業所として考えている課題の要因等 | 改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等 |
|---|--|--|--|
| 1 | 同年代の子供たちがいることも園等の機関との交流がない。 | 利用児や保護者・ご家族の交流への想いを確認していない。 | 実施に向けて利用児本人や保護者・ご家族の意向の確認を行う。 交流が可能な園や機関を探して行きたい。 |
| 2 | 保護者同士の交流する場が少ない。 | 休日の営業が無いため平日での交流会を開催するが参加者が限られてしまっていた。 | どのような交流方法が良いか検討する。（例えばランチ会等） |
| 3 | 建物が古く手狭に感じるときもある。 | 借家のため増改築ができない。また新しい建物を建てたり今より広い物件に移るための様々な準備が整っていない。 | 専門的な立場の方々から情報を得て良い方法は無いか模索していきたい。 |